



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



まちづくり協議会で汗を流す方の、まちづくりへの参画のきっかけ、想いなどを紹介します。

高浜まち協 井野代司彦さんからバトンタッチ!

— 〇 翼まち協 古橋 知美さん(評議委員)



▲古橋知美さん

◆ どういうきっかけでまちづくりに関わるようになったのですか?

出産を機に仕事から離れ、専業主婦の暮らしも充実していたころ、まちづくりに関わる市のイベントに参加しました。子どもを楽しませるつもりが自分も楽しく、人がつくりだすものへの感動や温かさに満足という喜びを味わいました。そこに自分も「加わりたい」と素直に思ったのがきっかけでした。以来十数年、働きかけの方法は自分次第で幾重にも広がり、関わる人と楽しみつつ「まちづくり」を続けています。

◆ まちづくりにはいろいろな世代・性別の人が関わってくるといいですね。

この地域には、小学校を拠点に家族がつながる、まちの人がつながる活動がされています。子どもから大人まで世代問わず広く呼びかけています。まちづくりの活動をしているといろいろな人と知り合い、新しいつながりもできて、住んでいるまちがどんどん住みやすくなります。関わりを持つことは勇気のいることです。知らない人にわざわざ声をかける人は少ないと思います。まずは、地域のあいさつから「まちづくり」に参加してみませんか。

◆ 市民の皆さんへ、まちづくりの第一歩を踏み出すメッセージをお願いします!

ものをつくるように、自分のこれからの暮らしのプランを考えてみてください。大切な家族が軸となり、周りに関わる人はどんどん増えます。教えてくれる人、叱ってくれる人、笑ってくれる人、泣いてくれる人 etc…。人に支えられて自分は存在することを意識した時に、どれだけの人と関係を生み育てられるか、どれだけの満足を得られるしかけができるのか。皆さん、住み続けたいまちの「まちづくり」をしましょう。



▲防犯・防災運動会にて炊き出し訓練



▲防災先進地視察



▲木村忠好チーフ

まち協特派員 木村忠好チーフから見た古橋さん!

古橋知美さんは、翼まち協の代表者会議のメンバーとして選任され、また、事務局員としても活躍されていて、まち協の事業を陰で支えていただいています。翼まち協の最大のイベントである防犯・防災運動会では、炊き出し訓練(昼食準備)の設営に携わり、毎年おいしい昼食がいただけるのは、古橋さんのおかげと感じています。

これからも、地域住民の方や各種団体の方が、互いに協力し、より一層楽しく活動ができるといいですね。

※まち協特派員…行政職員の所属部署に関係なく、チーフ1人(管理職)を含む4人の特派員により、小学校区ごとにチームを編成し、まちづくり協議会の会合への出席や活動のサポートなどを行います。